



**F · K · C**

The

FURANO KOTOBUKI COLLEGE

Times

富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上用 眞一郎

## 春の遠足・研修に行ってきました…木々の緑も一段と鮮やかです！

今日はいい天気！少し冷っとして清々しい朝…草木の新緑が朝日に輝いています。  
今日も新しい一日が始まりました。

先週は、春の遠足と研修。富良野校は、神田日勝記念美術館とともに福原記念美術館へ足を運びました。初めて神田日勝の娘さんである神田絵里子さんの風景画に出会い、そして、今年3月に亡くなられたお兄さんの神田一明の作品にも出会うことができました。そしてお昼には豚丼を完食！

また、山部校の春の研修会では、東大演習林の麓郷森林資料館研修と南富良野のホテルラーチでのテーブルマナー講習会でフルコース！……



今回、神田日勝記念美術館では【コレクション選～30年の歩みを振り返る～】が開催されており、ポスターには「晴れた日の風景」の作品が掲載されていました。鮮やかな原色と盛り上がった絵具の質感、ダイナミックなタッチで抽象的な作品…この作品は、1968年に始まる「人と馬」シリーズの一点だそうです。30年の歩みの中で、なぜ画風が変わったのか？第2研究生の平澤稔さんも同じように感じたようです。



そこで調べてみました。このような作品をアンフォルメル（フランス語で「非定型」理性では捉えられない意識下の心の状態から生み出されるものの表現を試みた前衛的絵画運動）

ということです。フランスなどヨーロッパの影響を受けたようですが、私は神田日勝の心の中には、戦争への激しい怒りとともに心に秘めた命や生への情熱を表現したような気がします。



1937年日中戦争が始まった年に生まれた日勝、日本が勝利するという願いが込められた自分の名、そしてこの戦争が第二次世界大戦へと進んでいく時代の流れにひたむきに反抗していたのかもしれない…揺れ動く思いと希望が一気に燃焼したような…鮮やかで、しかも力強いパワーとエネルギーを感じました…

## 山部校はしっかり研修！しっかりランチ！

山部校は東大演習林の麓郷森林資料館とかなやま湖ログホテルランチでテーブルマナー講習会でした。今は資料館ですが、私の記憶では教授や学生たちが研修する教室だったように記憶しています。建物の横にはテニスコート跡があり、池もあり…かつてここで沢山の学生たちが宿泊しながら研修をしていたんだなーとその時感じました。ここ一体が白鳥公園と呼ばれ、裏山まで散歩コースになっていて、旧神社跡もあったような…

さて、山部校の皆さんはどんなことを学んできましたか。今度教えてください。



そして、ランチ！



『喧騒とは無縁の静かな森の中

そして木の温もりあふれる癒しの空間』

かなやま湖を見下ろすカラマツ林に囲まれた閑静な佇まい。

北海道産カラマツ（LARCH）材を使用した

本格的ログホテル&コテージ

天然木の温もり、深緑に囲まれた自然の香り

野鳥のさえずりを感じながら

ゆったりとした時間をお過ごしいただける

ランチスタイルをお楽しみください。（ネットより）

# 本日、15日(水)の日程 **クラブ・スマホ講習**

今日はクラブ学習が午前にあります。新年度に入って2回目の学習となりますが、是非目標をもって取り組んでください。

新しい会員の方、教室が変更になることもありますので、場所や時間等の確認をお願いします。

また、本日は、「スマホ講座」を実施します。今まで利用していて気になることがありましたら、皆さんと共有したいと思います。便利だけでは不安です。

情報機器を上手く使用するのは皆さん自身です。この機会に学び合いましょう。

## 日程

- 09:15 朝の集い
- 09:50 クラブ学習の準備
- 10:00 クラブ学習  
(絵手紙クラブは従来通り 2F サークル2)
- 12:00 クラブ終了 昼食・休憩
- 13:00 スマホ講習会  
(資料を配布しますが、終了後回収します)
- 15:00 終了・後片付け

## 次回、5月22日(水) **場所が変更になります!**

午前：図書館2階「多目的ホール」：古典芸能の魅力?

午後：文化会館サンエーホール：少年の主張大会

## 日程

- 09時30分 朝の集い  
場所は図書館2階「多目的室」です。
- 10時00分 古典芸能の魅力
- 12時00分 休憩・昼食・移動  
午後の会場は文化会館のサンエーホールです。昼食を済ませてホールに集合ください。
- 13時20分 「サンエーホール」に集合
- 13時30分 少年の主張大会発表開始
- 15時30分 // 発表終了予定  
**ことぶき大学視聴終了**  
**山部校バス出発**
- 16時00分 少年の主張大会審査  
// 結果発表  
// 表彰式・講評

可能であれば、大会審査や結果発表、表彰式まで参加してくれると生徒たちも喜ぶと思います。

次回、5月22日の午前の授業は古典芸能を予定しており、久しぶりに狂言に触れたいと思っています。

狂言については、以前、上富良野町在住の狂言師、榎本元さんを講師に「狂言講座」を開催しましたが、その後、狂言の作品に触れることがありませんでした。

今回は、野村万作、萬斎、裕基の狂言師親子三代について、そして狂言作品「檜山節考」を視聴する準備をしています…

しかし、先月4月21日、ピアニストのフジコ・ヘミングが92歳で亡くなられたニュース、ちょうど手元に「いと小さき命のために」プレミアム・パーフェクト・バージョン」とショパンのノクターン第2番から始まる「フジ子・ヘミングとウィーンの仲間たち」がありますので、フジコ・ヘミングを偲びたいとも思っていますが…

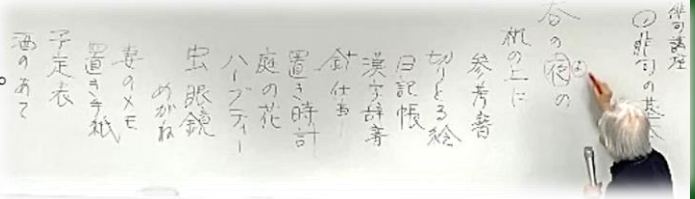
## 俳句講座2に向けて

今回は、下の○に何か五音の文字を入れて一句一章の句を詠んでみましょう。という  
ことで「春の夜の机の上に○○○○○」皆さんからいろいろと出されました。

参考書・切りとる絵・日記帳・漢字辞書・針仕事など……妻のメモ・置手紙もありました。何か興味が湧きますね…

次回6月19日までの宿題は「桜」です。

季節を皆さんの内面から発する言葉  
にのせて！！作品づくりに挑戦！！



## 寄稿文

十勝野の大地の先の記念館  
ストロブ囲む農夫の絵  
脳裏にありて消えることなき

本科二年 北川敦彦

八日の遠足を楽しみにしていた北川さんですが、体調が良くなり参加できませんでした。でも、当日、早くから見送りに来てくれました。

その際、欠席の連絡とともに、一句記載されていました。

神田日勝記念美術館への思いを綴ってくれたのですが、音数が五・七・五・七・五・七・七の音数でした。

そこで、この歌は長歌だということがわかりました。

北川さんの記憶の中に神田日勝の作品が鮮明に蘇ったのですね。

北川さん、その後、体調はいかがですか。

次の句を楽しみにしています。



## ティー・タイムコーナー

福原記念美術館では、神田日勝の作品とともに娘の神田絵里子さんの作品が展示されておりました。初めて目にした作品でした。とても繊細な風景画です。このポスターですが、神田日勝記念美術館で、2021年11月から2022年4月まで神田絵里子風景展が開催されたとのこと。

次のようなコメントが掲載されておりました。

“～今回の風景画展では約20点の展示を予定し、絵里子さんは「十勝の風景の良さを感じてもらえれば」と話す。同展のチラシに「深呼吸、忘れていませんか？」と書かれているように、作品は十勝の風景を写實的に捉え、その場所の空気感が漂う。同館の学芸員川岸真由子さんは「絵里子さんの絵からは透明感や清らかさ、心地よい風を感じる」と言う。～”

絵里子さんは1968年鹿追町生まれ。2歳のときに父・日勝が32歳の若さで夭逝、「父の記憶はほとんど残っていない」というものの、幼少の頃から絵に親しみ、高校時代には美術部に所属し、油彩画を始めた。現在まで独学で絵を描き続けている…現在も鹿追町に住んでいらっしゃるようです。神田絵里子さんの言葉「深呼吸、忘れていませんか？」とても良いですね。

深呼吸は、リラックス・自立神経・ストレス・免疫力・作業効率などの効果があるとのこと。ポイントは「吐くこと」だそうです。

温かいお茶をゆっくり飲みながら、そしてゆっくりと肩の力を抜いて…「ふうっ」…

